



# カスタム SPB により ATV のステアリング を操縦

# CCTY

B E A R I N G

[CCTY ベアリング](#)は、高品質なベアリングやアSEMBリの製造、および OEM パートナー向けの独自のソリューションを提供しています。

「多くの場合、顧客は標準のものではなく、軸方向の隙間が異なるものを求めています。当社は隙間を変更してしまえばめを調整することが可能です。これは、設計重視のソリューションに対する当社の取り組みのもう一つの例です。」

デーブ・オルソン、戦略販売マネージャー

## エグゼクティブサマリー

ある RV の OEM 企業が、新設計のステアリングシステム用に球面ベアリング (SPB) を依頼しました。試験段階で、その SPB には摩耗の徴候があり、軸方向の隙間をさらにきつくする必要があると判断されました。この OEM 企業は CCTY ベアリングのエンジニアにベアリングの軸方向の隙間を変更するよう依頼しました。

CCTY ベアリングの柔軟なエンジニアリングと製造能力により、この OEM 企業向けに 45 日でカスタム部品を製造し、現在 RV の生産ラインで使用されています。

## 問題

ピボットジョイントの可動部分の不整合により、試験時に球面ベアリングに摩耗が生じる原因となっていました。

この RV メーカーは、大きな角度の隙間に耐える堅牢な設計の SPB を求めています。

## 解決策

多くの OEM 企業が角度の変更や負荷能力の強化など、カスタム仕様を望んでいたために、CCTY ベアリングのエンジニアはこのようなソリューションに精通していました。

共有プリントを通して CCTY ベアリングのエンジニアリングチームは支持力を強化するため、内輪の軌道面を拡大した SPB を開発しました。ハウジングの内径とベアリング(球面)の外径との間のしまりばめをきつくして、対象の角度に対する軸方向の隙間を変更しました。

「当社は代替の SPB ソリューションで数多くの OEM をサポートしています。たとえば、シールを追加して SPB を完全に組み立てられたユニットとして出荷したり、シールとベアリングを別々に出荷することが可能です。これにより、顧客の組立ラインの仕様がある場合、または後日シールを使用したい場合、それに応じた選択が可能です。」

-ダリ・ワン、主任エンジニア

## 結果

この RV メーカーは堅牢な新設計のステアリングアセンブリ向けに、修正した部品を使用することができました。

CCTY ベアリングのソリューションは以下を証明しました。

- 軸方向の隙間をきつくする
- 大きな負荷に対応
- サスペンションとステアリングソリューションの改善